

犬や猫の殺処分室を廃止し、 真に「愛護」の施設へ。

県動物保護センターの建替えを推進



神奈川県

公明党神奈川県本部「2020年イヌネコ殺処分ゼロを目指すプロジェクトチーム」は、保護された犬や猫の命を救う活動を推進しています。このほど、県議団の提案により、動物保護センターの建替えと、その財源を寄付で募ることなどが決まりました。新たな施設では殺処分室や焼却炉を廃止し、「ひとと動物の共生を目指す施設」として2018年度末に生まれ変わります。

豪雨災害の拡大を防ぐ。

浸水区域を示す「内水ハザードマップ」を作成



横浜市

集中豪雨で下水道や水路などがあふれる「内水はん濫」による浸水区域等を示す「内水ハザードマップ」の作成を、2010年に公明党横浜市議団が提案しました。基礎調査、シミュレーション等を経て、横浜市の南部方面は昨年3月、北部方面は本年3月に公表されました。市内で50cm以上の浸水が予測される地域に配布され、その他の地域は区役所等で希望者に配布されています。

SFの世界が 現実になる日を目指して。

京浜臨海部で最先端医療の研究が進む



川崎市

川崎臨海部の国際戦略拠点「キングスカイフロント」に研究機関が続々と集結しています。公明党川崎市議団が設置を推進したナノ医療イノベーション拠点やiPS細胞を活用した再生・細胞医療開発拠点では、ウイルスと同サイズの「スマートナノマシン」を使って、がんなどの病変を検出・診断・治療する「体内病院」や「脊髄損傷などの難病」を再生医療で治療する研究などが進んでいます。

市民への対応が迅速に。

災害時の情報収集に市職員のバイク隊が発足



相模原市

公明党相模原市議団の提案が実り、県内初となる行政職員のバイク隊「銀河」が発足しました。市職員6人で構成され、災害時には隊専用スマートフォンで情報収集にあたり、被災現場の動画が市災害対策本部に伝送されます。行政による被害状況の正確な把握が可能となり、市民への迅速な対応が期待されています。

来夏の参院選 神奈川選挙区

定数4

三浦 のぶひろ氏を公認

公明党は、来夏の第24回参議院議員通常選挙の神奈川選挙区予定候補として、新人の三浦のぶひろ氏（党国際局次長・青年局次長）を公認しました。

三浦のぶひろ氏は、千葉工業大学で金属工学を専攻。卒業後、防衛大学の教官として学生を育て、ジェットエンジンや火力発電所に使われる耐熱金属の研究にたずさわりました。

2003年に東京工業大学で博士号を取得し、2012年には最年少で防衛大学の准教授に就任しました。

三浦のぶひろ氏は、「豊かで希望ある社会をつくるため、若い力を政治に生かしたい」と抱負を語っています。

また、来夏の参院選について山口那津男代表は、「国民の期待に応えるため、連立政権の基盤をさらに盤石なものとしていく」と述べています。

三浦のぶひろ氏の公認決定にあたり党神奈川県本部の佐々木さやか選対本部長（参議院議員）は、「日本、そして

神奈川の未来を開くため、皆さまのご支援を心からお願いしたい」と強調。上田勇県代表（衆議院議員）は、「厳しい選挙になると思うが、県本部所属議員が一丸となって、悲願の神奈川選挙区連続勝利を成し遂げたい」と決意を語りました。



記者会見する三浦氏。右は上田県代表、左は佐々木選対本部長=10月1日、神奈川県庁

党国際局次長・青年局次長

三浦のぶひろ

40歳

未来をつくる、新しい風。

日頃より、心温まるご支援をいただき、誠にありがとうございます。

幼い頃から飛行機が大好きだった私は、10歳の時、目の当たりにした日航機墜落事故がきっかけとなり、飛行機のジェットエンジンに使用する金属材料の研究者になりました。ひとえに“人々の尊い生命と、空の安全を守りたい”との純粋な思いからでした。

これまで国内外で評価を頂いた耐熱金属の研究成果は、そのまま火力発電所に使用する金属の改良にも応用され、環境に優しい、安定した発電エネルギー技術の発展に寄与するものです。

わが国は今、持続的な経済成長の実現や、少子高齢化と人口減少社会、進行する地球温暖化と流動化する国際情勢など数多くの課題に直面しています。そうした難しい時代だからこそ、私は、わが国の活路を開く大きな希望として、日本が世界に誇る「先進科学技術」の進歩に着目しています。

科学技術を産業の発展や諸課題の解決に生かすためには、政治のリーダーシップが不可欠です。とくに、私が育った故郷にある福島第一原発の廃炉は、技術の粋を集めなければ乗り越えることができない課題が多く、私が国政に挑むきっかけとなりました。

今後は、何より皆様のお声に耳を傾け、それを政治に反映するべく、神奈川中を全力で駆けめぐってまいります。

PROFILE

三浦のぶひろ(信祐)。1975年3月5日生まれ。40歳。横浜市港南区在住。宮城県仙台市出身。福島県立福島高校、千葉工業大学を卒業後、防衛大学の機械システム工学科助手に。2003年には東京工業大学で工学の博士号を取得。4年おきに開催される先進電機材料の国際会議(EU主催)で、最も優れた発表者に贈られる「ベストポスター賞」を連続受賞(02年・06年)。日本人初の快挙となった。2012年、防衛大学校で最年少の准教授に就任。家族は妻と娘と愛犬。

ニッポンの先進技術が未来をつくる!

科学技術で、世界に貢献。

原発の廃炉と代替エネルギー問題、食糧・環境問題、感染症問題など、人類的諸課題の解決へ科学技術の進歩が求められています。日本にはiPS細胞や公害対策など、世界に誇る優れた技術があります。これらを生かした国際貢献をはかることで、日本の信頼と国益を高めます。

暮らしを便利に、豊かに。

LED(発光ダイオード)の開発は新たな産業を生み、雇用の増加など大きな経済効果をもたらしました。先進技術の発展は暮らしを豊かにすると同時に、経済や外交など国力を活性化するカギを握っています。日本の豊かな未来を創造するため、世界最先端の技術力向上に今こそ力を入れます。

国民の健康と生活を守る。

医療・介護分野での先進技術の開発が難病の治療を可能にし、介護の負担を大きく改善しています。健康診断なども充実し、多くの病気が事前に予防できる時代になりました。一人ひとりが健康で長生きできる社会を築くためにも、医療・介護分野での先進技術の発展に全力を注ぎます。

誰もが生き生きと暮らせる社会へ

- ・経済の好循環を地域に家庭に
- ・健やかな高齢社会のために
- ・女性が健康で活躍できる社会へ

元気な日本は神奈川から

- ・3つの特区*を強力に推進
- ・最先端がん治療の拠点に
- ・魅力ある観光地づくりを推進

*3つの特区=「京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区」「さがみロボット産業特区」「国家戦略特区」

詳しくは、三浦のぶひろウェブサイト (<https://miura-nobuhiro.com>) へ



Nobuhiro

Miura

公明党

公明党代表
山口那津男

日本は資源の乏しい国です。また、今後、少子高齢化によって労働人口も減っていきます。そうした日本が世界で競争し、勝ち抜いていくためには、何といたっても科学技術が発展していかなければなりません。そして、その成果が産業に取り入れられ、豊かな国になっていく必要があります。そうした日本の未来を考えたとき、三浦さんのような科学技術に精通した専門家が、その眼を持って政治の場で活躍することが重要であり、これからの時代に最も求められる政治家像だと思います。公明党の新しい力として、三浦さんの活躍を心から期待しています。

<https://miura-nobuhiro.com>

<https://www.facebook.com/miura.nob>

@miura_nobuhiro



メルマガ登録はQRコードを読み込んで空メールを送信
join@miura-nobuhiro.com